

市川市議会では、年4回の各定例会で、各会派の代表が市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会の代表質問における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、質問通告のあった会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、代表質問のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。
※12月定例会の代表質問は11月20日に通告を締め切り、11月27日から4日間の日程で行いました。

代表質問

創生市川

〔総括質問者〕

金子 正

〔補足質問者〕

国松ひろき

石原たかゆき

大久保たかし

稲葉 健二

加藤 武央

松永 修巳

岩井 清郎

歯科保健

問 受診率が80%を超える幼児歯科健診に比べ、30歳から10歳ごろに実施している歯周疾患検診は受診率が約10%とかなり低くなって

いる。現在、80歳になっても20本以上の歯を残そうという「8020運動」など、歯の健康に関する啓発活動が進められる中、本市としても検診の通知や啓発の方法を工夫すると共に、10歳ごろに実施している検診を5歳ごろに変更する等、対

中核市への移行

問 市長は前回の市議会定例会で中核市移行を目指す上に向けた市の考えを問う。
答 歯周疾患検診については、広報等での周知の他、対象者に個別に受診券を送って案内している。今後は市内歯科医院へポスター掲示を依頼するなど、さらに周知を図っていく。また、国の健康増進事業実施要領では40歳から10歳ごろの節目検診と定められているところ、本市独自に30歳を加えた年齢で実施しているが、対象年齢の拡大も含め、先進事例も参考にしながら、受診率の向上に取り組んでいきたいと考えている。

答 中核市に移行し、県から移譲される権限・業務と本市が行っている業務との相乗効果により、これまで

家庭ごみの収集

以上に健康で安全・安心なまちづくりに取り組むことができ、市民サービスがさらに向上するものと考えている。移行に向けては、検討すべき課題や事務量が非常に多いと認識しているが、今後しっかりと議論を尽くし、将来にわたって市民に納得してもらえよう、目標を定めて取り組んでいく。
答 3年度の燃やすごみの収集体制を見直す理由は、コロナによる影響の長期化が想定されることから、新しい生活様式に対応した収集体制を整備し、ごみの保管や排出に係る市民負担の軽減と公衆衛生の確保を図るためである。また、将来的な収集体制については、これまでの収集回数の変更により一定のごみ減量効果があったことを踏まえつつ、市川市廃棄物減量等推進審議会や市民の意見等も聴き

公明党

西村 敦

小山田直人

久保川隆志

浅野 さち

中村よしお

宮本 均

大場 諭

堀越 優

中核市への移行

問 中核市への移行に伴い、市には自前の保健所が設置され、保健衛生行政に関する様々な事務が移譲されるが、既存の保健センターに

おける保健師業務はどう変わるか。また、地域保健法第4条に基づく国の指針では、保健所を地域保健医療に対する総合的な企画機能を有する中核機関に位置付けることが望ましいとされている。保健所は保健衛生行政の拠点となるべきと考

高齢者へのPCR検査

問 市は、65歳以上の高齢者等を対象として、希望者全員に無料でPCR検査を実施する方針を打ち出した。同時期広範囲の検査により、感染者を早期に見出し感染拡大防止を図ることができると、感染者が多数確認されれば、医療機関等の業務を圧迫するおそれもある。そこで、当該検査で陽性の疑いがあると判定された場合及び陰性の場合の対応を問う。また、陽性者が多数確認され医療機関が逼迫した場合の対応はどうか。

答 当該検査で陽性の疑いありと判定された市民には、市から直接連絡すると共に保健所へ報告を行い、その後、医師によるPCR検査で陽性が確認されれば、保健所が入院等の調整を行う

防犯政策

問 議員有志により設立された「市川市防犯政策推進議員政策勉強会」は、令和2年7月21日、防犯政策の提言を市長に手渡した。本提言は、第二次市川市防犯まちづくり基本計画における6つの基本的方向について、自助、共助、環境、犯罪弱者支援の4つの基本方針に集約・再構築したものであり、市はこれらを参考に様々な取り組みを既に実施していることである。特に客引き禁止の取り組みについては、早くも条例化の検討に繋がったことを高く評価する。この提言について、市長の見解を問う。

答 市川市防犯政策推進議員政策勉強会の活動には敬意を表する次第であり、本提言の4つの基本方針を十分に参考にしながら、犯罪の抑止や体感治安の向上に向けて、精一杯取り組んでいきたいと考えている。また、まちの住みやすさランキング等では、犯罪が少なく、安全・安心なまちであることが最も重視されるた

め、それらを意識して、今更にも議会と連携しながら取り組んでいきたい。



街の安全を守る青色防犯パトロールカー



燃やすごみの収集作業